



横浜市指定 NPO 法人アクションポート横浜 事業報告書

2013/4/1-2014/3/31

NPO 法人アクションポート横浜

1. 市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト

横浜サンタプロジェクトの実施

企業・NPO と連携して実行委員会を結成し、横浜に笑顔をプレゼントするというテーマで、5つのサンタが様々な活動を行った。企業に働きかけ車や物品の提供をお願いし、活動に参加しやすい土壌をつくることができた。

日時：2013年12月14日（土）12：00～16：00 実施

参加者（サンタ）：500名

対象者：500名 * 訪問先の子ども達などの人数



- ・訪問サンタ：横浜市内の6施設にオープンカー、黄色の安全パトロールカーでサンタが訪問。
- ・広場サンタ：パシフィコ横浜円形広場にて、参加型ステージパフォーマンスやブース企画を実施。
- ・ドライブサンタ：子どもたちを対象にオープンカーのミニドライブ体験を実施。
- ・清掃サンタ：横浜にキレイをプレゼント！サンタになって清掃活動を実施。

・その他：

- ・横浜市長よりメッセージが届き、開会式にて代読。
- ・神奈川新聞一面に活動が掲載



◆主催：サンタが街にやってきました！2013実行委員会

有限責任 あずさ監査法人、株式会社イベント・コミュニケーションズ、

SMB Cコンシューマーファイナンス株式会社、NTTソフトウェア株式会社、株式会社大川印刷、大塚製薬株式会社、神奈川県印刷工業組合、首都高トールサービス神奈川株式会社、株式会社野毛印刷社、

F i t s横濱株式会社、富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社、マツダ株式会社、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、横浜市社会福祉協議会、NPO 法人横浜市民アクト、

NPO 法人アクションポート横浜

◆協力企業・団体

石井造園株式会社、西区役所、NPO 法人マメポニ、横浜・八景島シーパラダイス、株式会社横浜ビール、（公財）よこはまユース、リコージャパン株式会社

◆特別協賛

株式会社大川印刷、株式会社野毛印刷社、マツダ労働組合、

ロードスターチャリティフリーマーケット実行委員会、横浜信用金庫、横浜中華街パーキング協同組合

◆一般協賛

株式会社八雲堂、ジョンソンコントロールズ株式会社、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社、江ノ島電鉄株式会社、MMcc、大塚製薬株式会社、神奈川県印刷工業組合、神奈川県信用保証協会、

桔梗屋洋紙株式会社、株式会社ケイジェイシー、コーエーテクモホールディングス株式会社、

コールド・ストーン・クリーマリー・ジャパン株式会社、城南信金横浜支店、昭和紙商事株式会社、

生活協同組合ユーコープ、相鉄企業株式会社、相模鉄道株式会社、相鉄バス株式会社、

株式会社相鉄ビルマネジメント、相鉄ホールディングス株式会社、中越パルプ工業株式会社、野中貿易株式会社、

パシフィコ横浜、株式会社バゲージハンドラーズ、花と緑の研究所、富士ゼロックス神奈川株式会社、

株式会社文友社、平和紙業株式会社、放送ライブラリー、マツダ労働組合、メットライフアリコ生命保険株式会社、

横浜エフエム放送株式会社、ヨコハマ・グッズ001（ゼロゼロワン）会員企業、横浜市資源リサイクル事業協同

組合、横浜 DeNA ベイスターズ、横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ



【成果と次年度に向けて】

□サンタプロジェクトでは、積極的な企業の関わりにより、企画の数や参加方法等を増やすことができ多くの方に関わってもらうことができた。また、看板協賛や広場サンタブース出店料等で資金獲得をすることができ、助成金がなくなっても継続運営をすることができた。

□今後も多様な企業が参加できるように、ノウハウの蓄積と成果の発信に力を入れていきたい。

みなとみらいサロン

主にみなとみらい地区を拠点とする地域企業へ呼びかけ、社会貢献活動についての交流会を3回実施した。1回目ではみなとみらいの歴史や地区企業の方の活動について話を伺い、後半2回ではみなとみらい地区企業の方に参加いただきながら、社会貢献活動の企画会議を行った。(みなとみらい21エリアマネジメント助成)

【1回目】

日時：12月10日(火) 16:00-21:00 場所：みなとみらい21会議室
 講師：嶋田昌子氏(NPO法人横浜シティガイド協会 理事)、
 清水あつ子氏(元富士ゼロックス株式会社 CSR部社会貢献推進室長)
 事例報告：MMcc (Minato Mirai community club)、富士ゼロックス株式会社



【2回目】

日時：2月18日(火) 18:30-21:00 場所：みなとみらい21会議室
 情報提供：松本道雄氏(高島中央公園愛護会 会長)、岩松一郎氏(一般社団法人みなとみらい21)

【3回目】

日時：3月18日(火) 18:30-21:00 場所：みなとみらい21会議室

【成果と次年度に向けて】

□みなとみらい地区の地域企業が集まり、互いの課題について共有しながら地域でできる企画づくりについて議論することで、今後の活動実践に向けた機会づくりとなった。

■企画の実現に向けてはテーマや内容について再調整が必要。

横浜型コミュニティサイクル「baybike」への運営協力

昨年度から引き続いて、横浜市・株式会社NTTドコモが運営主体として実施している「横浜都心部コミュニティサイクル社会実験」へ参加した。社会実験の運営主体である(株)NTTドコモと契約し、自転車の点検や管理、マナー啓発などを行うクルー(スタッフ)の配置などの運営協力を行った。2013年5月まで運営に関わり、その後次の事業者へ運営を引き継いだ。



HSBC Water Programme(旧 横浜流域戦略パートナーシップ・イニシアティブ)の実施

HSBC グループが世界的規模で取り組む HSBC Water Programme という水資源に関する支援活動について、日本におけるパートナーとして協働にてプロジェクトを実施した。2013 年度は横浜市内各地の川に関わる活動団体との連携を推進する流域連携よこはまと連携し、横浜の健全な水環境の再生を目指し、川や流域で活動する人や団体のための交流の場づくりとして下記に取り組んだ。

□流域連携学習会

- 目的：流域を単位とした水環境再生のビジョンづくりに関わる関係者間の交流および相互理解を深める。
- 対象：河川管理や水循環・流域管理に関する行政機関、川に関わる環境活動団体、企業等。
- 内容：参加者内で講師を持ち回り、河川管理や水循環・流域管理に関する行政計画や事業、環境活動の先進的事例などについて学習する。
- 詳細：

	開催日	テーマ
第 1 回	2013 年 6 月 26 日 (水)	これまでの河川管理とこれからの川づくり・流域づくり ～市民と築く、多様な水辺と川の安心～ (横浜市)
第 2 回	2013 年 7 月 31 日 (水)	これまでの河川管理とこれからの川づくり・流域づくり ～市民と築く、多様な水辺と川の安心～ (神奈川県)
第 3 回	2013 年 11 月 23 日 (土・祝)	E ボートによる大岡川下流・堀割川の魅力めぐり」
第 4 回	2013 年 12 月 18 日 (水)	関内・関外地区活性化の取組みについて
第 5 回	2014 年 2 月 22 日 (土)	大岡川流域での緑の保全、河川整備、都心再生の取組みの見学

□環境イベント

- 目的：横浜市内 7 流域それぞれで活動する市民団体と共催でイベントを行うことで、それぞれの流域での活動のステップアップの契機を創る。
- 対象：HSBC グループ社員、各流域イベント会場周辺の市民（一般公募なし）
- 内容：川の清掃活動、川の生態調査（魚の捕獲・観察）、ヨシ等の抽水植物の植栽、E ボートの体験等の親水活動。
- 詳細：

	開催日	テーマ
第 1 回	2013 年 5 月 25 日 (土)	《ヨコハマの都市河川を味わい尽くそう vol. 1》 ～僕らのまちの大岡川で復活ゴロビキ網に挑戦～
第 2 回	2013 年 9 月 28 日 (土)	《ヨコハマの都市河川を味わい尽くそう vol. 2》 ～侍川でアシの植栽大作戦&E ボート体験～



【成果と次年度に向けて】

- 「川や流域を使って活動する人や団体のための交流の場」づくりを目指してスタートしたが、これまで流域での活動に取り組んできた団体の尽力により、当初の予定時期よりも早く、場づくりの進捗が見られた。これにより、次年度はプログラムを次のステップに移行する。
- 国際的な金融・銀行グループである HSBC グループとの協働は、今後企業との事業を推進していくにあたり、事務局にとって非常に良好な学びの機会となっている。引き続き、真摯に取り組んで行く。

板橋プロジェクト(仮)

企業と連携し、団地のコミュニティ活性化のためのサポートとして、主に下記に取り組んだ。

- 地域のキーパーソンに対するヒアリング
- コミュニティづくりに関する基本計画および個別のイベント企画

【成果と次年度に向けて】

- 2013年度は業務全体の進捗に合わせて、キーパーソンに対するヒアリングを実施するに留まった。
- 2014年度も進捗に合わせてだが、イベントやワークショップを通じて地域に入った後、地に足のついたコミュニティづくりに取り組んで行く。

2. 市民や市民活動団体の地域の課題解決や、そのための組織運営を支援するプロジェクト

ヨコハマ市民まち普請事業（横浜市都市整備局地域まちづくり課との協働事業）

市民が主体となった身近なまちのハード整備に関する提案を募集し、2段階の公開コンテストで選考された提案に対して、最高 500 万円の整備助成金を交付するなど、市民のまちづくり活動への支援を行う事業。横浜市、NPO 法人市民セクターよこはまとの3者協働事業。2013 年度は下記の業務を担当した。

□整備成果報告会・活動懇談会・交流会（第三回まちづくりびと全員集合）の企画運営

日時：2013 年 10 月 6 日（日）9:45～16:10

○平成 25 年度二次コンテスト対象提案 活動懇談会

提案団体と審査員、事務局、まちづくりコーディネーター、過去の整備団体が参加して、提案のブラッシュアップのための意見交換

○平成 23 年度選考 24 年度整備提案 成果報告会

完成した整備内容、その経過に関して報告。

○まちづくりびと全員集合（交流会）

新旧の提案団体のメンバー、まちづくりコーディネーターなどが一堂に介し『「まち普請」を活用したこれからのまちづくりをテーマにワールドカフェ形式での対話の場を運営。



□広報製作物の企画・制作

- ・第三回まちづくりびと全員集合の募集チラシ
- ・2014 年度 提案団体募集リーフレット
- ・2014 年度 提案団体募集ポスター

□平成 24 年度整備事例集の企画・製作

事例集 Vol. 7：平成 23 年度選考・平成 24 年度整備完了の事例の取材を行いまとめた。



提案団体募集リーフレット

整備事例集

□部会運営の補助

横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会の運営補助（資料作成・議事録作成等）

□まちづくりのツボ発見バスツアーの企画・運営

一般市民向けにこれまでの整備事例をバスで回り見学するツアーを実施。例年、訪問する場所が多く、慌ただしく終わるため、今年度は3ヶ所に厳選。また、移動の車中に参加者間の交流を促すよう仕掛けた。

日時：2014 年 3 月 15 日（土）9:30～16:10

見学箇所：大道小学校、コミュニティ・サロンほっこり（以上、金沢区）、美しが丘第六集会所（青葉区）

【成果と次年度に向けて】

□2015 年度が事業開始から 10 周年の年に当たる。各業務の参加者からは一定の評価は得ているものの、近年の応募団体の減少への対応策や、ここ数年取り組んでいる整備済み団体間の相互支援の体制づくりのプラスとなるように、10 周年に向けてこれまでの 10 年の評価に取り組めるよう、主体的な事業提案を進めていく。

□2013 年度途中より、これまで長年事業を担当いただいた平山氏から業務を引き継いだ。平山氏の丁寧な事業遂行のおかげをもって各整備団体の法人に対する信頼は厚い。担当が変わることにより、新たに信頼の構築が必要となるが、これまでの信頼を損なわず、さらなる連携の強化に努めたい。

■2013 年度は業務の遂行にあたり、スケジュールや品質管理が不十分なものがいくつかあった。協働事業において、横浜市との信頼を取り戻すべく、次年度は引き締めて業務に当たりたい。

3. 市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート

市民活動や地域の課題解決に関する相談に対応し、随時助言や紹介を行った。

特に企業、若者(大学生・若手社会人)などからの相談が多く、NPO とのマッチング、紹介などを行った。

4. 市民活動や地域の課題解決に関する情報提供と問題提起

ホームページの運営

アクションポート横浜のホームページ

(<http://actionport-yokohama.org/>) の運営と内容の充実を図った。

特に今年度は活動内容と地図をリンクさせる「アクションマップ」を完成させ、活動をより見える化する工夫を行った。

メールマガジンの発行

APY 通信を毎月 1 回発行し、会員向けに情報発信と活動報告を行った。

会員相互のコミュニケーション手法の検討

会員相互のコミュニケーション手法として、メーリングリストを活用し、アクションポートの事業への参加の呼びかけ、アクションポートに寄せられる情報の発信を行う他、会員が参加する活動の情報等が寄せられた。

リーフレットの作成

アクションポート横浜の活動内容を紹介するリーフレットを作成した。



アクションマップ

5. 市民活動や地域の課題解決に関する政策提案

「新しい協働を考える会」への参加

2013年3月をもって、新しい公共事業の「新たなステージへの環境創出事業」が終了した。しかし、課題が解決されたわけではないので、この事業の中心だった「新しい協働を考える会」として、継続して取り組むことになった。

内容としては、

- ・横浜市市民協働条例の見直し：
3年後の見直しに向けて「横浜市市民協働条例」実施に向けた課題の洗い出しと方向性の模索
- ・あがってきた「協働」課題の検討：
その都度相談内容に応じて、場合によっては専門家も交え検討していく。

等である。

実際には、以下の活動を行った。

- ・市民協働条例をめぐるラウンドテーブル リターン勉強会パート1：
協働条例の活用方法を学ぶ目的で、3月14日(金)に、協働条例第一号である「保土ヶ谷の旧街道のにぎわいづくり事業」の事例を伺った。
- ・地域子育て支援拠点の次年度契約書勉強会：
協働条例にのっとり「協働契約」を結ぶにあたって、拠点担当者と専門家を交えて、協働契約書の内容を検討した。

【成果と次年度に向けて】

□横浜市立大学が市民局からの委託で実施している「協働コーディネーター養成講座」に、協力していくとともに、市民協働条例は改正に向けては2014年度が勝負の年になるので、実態把握とともにPRにも努めていきたいと考えている。

IPCC 横浜会議記念シンポジウム「だめじゃん、地球温暖化。～異常気象が日常に!?!～」協力

2014年3月に横浜において、日本では初となる IPCC（気候変動に関する政府間パネル）作業部会および総会が開催された。これに合わせて、事務局スタッフ間で親交のあった認定 NPO 法人気候ネットワークがシンポジウムを開催するとの話を受け、アクションポート横浜の強みを活かし企画・運営に協力した。

□IPCC 横浜会議記念シンポジウム「だめじゃん、地球温暖化。～異常気象が日常に!?!～」

日時：2014年3月21日（金・祝）13:00～17:00 / 場所：横浜市中央図書館ホール

- ・共同主催者となる公益財団法人横浜市資源循環公社を紹介。
- ・環境省や横浜市が実施する関連イベントでは参加者を高齢者が占めていることから、できるだけ次世代の参加するようにコンセプトメイクから企画内容に関しても助言を行う。
- ・若者の参加を促進するために午前中に関連イベントを実施（下記）。その企画・運営の中心を担う。

※当日の様子は気候ネットワークの youtube チャンネルにアップされているので

(<https://www.youtube.com/user/kikonetworkchannel>) そちらを参照ください。



□Meeting for Next Generation in 「だめじゃん、地球温暖化。～異常気象が日常に!?～」

日時：2014年3月21日（金・祝）9:45～12:30 / 場所：横浜市中心図書館 第1会議室

○団体活動紹介（スーパーライトニングトーク&ポスターセッション）

横浜～関東を中心に活動している大学生・若手社会人の活動団体11団体の活動紹介。

・これまでのネットワークを活用し、市内の大学環境団体の参加者を集めた。

○アイデアソン（特定のテーマについてグループ単位でアイデアを出し合い、それをまとめていく）

活動団体も参加者も入り交じっての、アイデア出しワークショップ。

○交流会

素材にこだわった地産地消の食事をいただきながらの交流会。



【成果】

□これまでのネットワークを活かし、気候ネットワーク、横浜市資源循環公社双方にとって実りの多いマッチングを行うことができ、それぞれの団体との信頼度を向上させることができた。

□アクションポート横浜としても、これまであまり接点のなかった気候分野の環境活動の実績および、団体・個人との繋がりができた。

□午前中の関連イベントにおいては、市内の大学環境団体と気候変動に関わる環境団体が一堂に会する機会を作り、今後横浜市資源循環公社とで実施する環境イベントの布石を打つことができた。

6. 市民活動や地域の課題解決に関する人材の発掘と育成

NPO インターンシップ（学生の NPO 活動体験の実施）

市内の大学と協力し、学生が一定期間 NPO でインターンとして活動するシステムを運営した。

夏休みを中心とする 10 日間活動する「短期インターンシップ」と 6 ヶ月間活動する「長期インターンシップ」の 2 種類のインターンを実施した。

	参加者数	受入団体
短期インターンシップ	24 名	17 団体
長期インターンシップ	12 名	5 団体



◆参加大学

横浜国立大学（地域課題実習「市民活動を体験して考える協働型まちづくりプロジェクトⅢ」）、
横浜市立大学（まちづくり体験実習 b）、神奈川大学（実社会体験研究・インターンシップ準備演習）
関東学院大学、フェリス学院大学（ボランティア活動 1, 2, 3）、桜美林大学

◆参加 NPO

NPO 法人アークシップ、NPO 法人 WE 2 1 ジャパン、片倉うさぎ山公園管理運営委員会、NPO 法人教育支援協会、
NPO 法人グリーンママ、コトラボ合同会社、NPO 法人さなぎ達、NPO 法人さくらザウルス、さわやか港南、
障害者自立生活センター I L・NEXT、鯛ヶ崎公園プレイパーク、NPO 法人地球市民 ACT かながわ、
流域連携よこはま、日本の竹ファンクラブ、NPO 法人びーのびーの、NPO 法人フェアスタートサポート、
NPO 法人横浜 NGO 連絡会、NPO 法人アクションポート横浜



【成果と次年度に向けて】

□日ごろ地域の活動や課題と接点をもちにくい学生に対して現場体験できるインターンシップの効果は大きい。
昨年度の課題であった目標設定や活動の振り返りに重点を置いたプログラムを実施したところ、感想や報告の中で現場に行くことで気づきや学びがあったという報告が多数見られた。

□団体向けに学生の受入についての勉強会を実施する等、団体同士のノウハウの共有の機会を設けた。インターン後も学生が団体に定着する機会も報告されていて、団体にとって学生のリクルートの機会になっている。

■長期インターンシップでは 12 名 5 団体と参加者、団体ともに増えたが、参加人数が増えることでフォローアップが行き届かない部分もあった。次年度は長期インターンシップのフォローアップ体制を充実させたい。

■やはり事務局経費の捻出が厳しく、予算の確保は引き続き大きな課題である。

若者による市民活動の広報支援プロジェクト (YOKOHAM ACTIONPLANNER)

若手社会人約 80 名が参加し、NPO の広報支援や若者を巻き込んだプロボノ 活動などを実施した。

○NPO への広報支援活動

支援先

- ・ NPO 法人 Junko Association : 会員獲得に向けたサポート
- ・ NPO 法人教育支援協会 : ホームページ作成、イベント広報
- ・ かながわユースボランティアリングファクトリー : 人材獲得サポート
- ・ 都筑民家園 : イベントサポート



○交流活動

YAP メンバー同士の交流の機会としてイベントを実施。

- ・ 地産地消流しそうめん 7月13日(土)@都筑民家園
- ・ 花時計打ち水大作戦 8月31日(土)@みなとみらい花時計
- ・ 横浜サンタプロジェクトでブース出店 12月14日(土)
- ・ 小学生ともちつき大会 1月18日(土)@川上小学校
- ・ 戸塚のおもちゃ箱に参加 3月1日(土)@川上小学校



○横浜珍百景プロジェクト

若者目線で横浜の魅力を発掘していこうというプロジェクト。

7月27日(土)@横浜・保土ヶ谷地区

9月7日(土) 秋の総選挙(これまでの振り返り)

10月26日(土) 総選挙ツアー



【成果と次年度に向けて】

□4年目の活動となったが、若者 80 名となり、他の若者団体とも連携して自主的に活動を行うことができた。

□定期的に活動を展開し、活動の基盤を整えることができた。

■忙しい社会人がメンバーなので、チームマネジメントとアウトプットの質は引き続き検討が必要。

高校生ボランティアセンターfriends アドバイス事業

神奈川高校生ボランティアセンターにて高校生のアイデアが実現できるようアドバイザーとして参加した。

(神奈川県教育委員会主催)



続・大人のインターンシップ事業（横浜市市民活動支援センター自主事業）

普段活動に関わる機会の少ない社会人や若者を対象に、体験型プログラムを実施した。今年は特に「受け入れ」に着目し、より定着して活動を継続していけるよう座談会と受入の実践活動を展開した。

○ボランティアの受入を考える座談会の開催

ボランティアの受入をしている NPO 職員の方を対象とした受入ノウハウ共有座談会を開催した。

日時：7月26日（金）18:30 - 21:00

場所：とつか区民活動センター

参加者：30名



○体験活動

座談会で得たノウハウを活かして、実際にボランティアの受入体験を実施。

小学校で子ども達と餅つき体験！



受入団体：NPO 法人教育支援協会

日時：1月18日（土）8:00～15:00

場所：川上小学校

中井町でマダケ間伐&竹林で BBQ 体験！



受入団体：日本の竹ファンクラブ

日時：2月1日（土）8:00～16:30

場所：神奈川県足柄郡中井町

乳幼児親子との交流イベント体験！



受入団体：NPO 法人びーのびーの

日時：2月22日（土）9:00～13:00

場所：ライフ大倉山店

学生企画エコツアー

横浜市資源循環公社とアクションポートが連携して行った企画で、学生を環境問題の啓発ツアーを行った。今後も継続して企画を実施予定。



インターン生の受入

2013年度は短期生として鈴木さん、戸田さん、長期生として高橋さん、高澤さん、佐藤さんの5名が活動してくれた。



特定非営利活動法人アクションポート横浜 2013年度収支計算書

収入の部

項目	2013年度決算	2014年度予算	備考
会費収入	185,000	200,000	運営会員60名、一般会員30名
寄付金収入	172,660	200,000	
事業収入	19,683,399	22,310,000	
1. 市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト	12,361,946	7,900,000	横浜サウンプロジェクト/みなどみらいサロン/横浜型コミュニティサイクルbaybike/HSEC Water Programme/板橋プロジェクト(仮)/みんなで作る!「市民活動百頁」(仮称)
2. 市民や市民活動団体の地域の課題解決や、そのための組織運営を支援するプロジェクト	5,662,200	3,810,000	市民活動による地域の元気!創出プロジェクト~/ヨコハマ市民まち普請事業
3. 市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート	109,750	1,600,000	認定・指定NPO法人による相談窓口事業の受託/益裁カフェ/企業からの相談対応・コーディネート
4. 市民活動や地域の課題解決に関する情報提供と問題提起	10,242	0	
5. 市民活動や地域の課題解決に関する政策提案	96,600	0	IPCC横浜会議記念シンポジウム
6. 市民活動や地域の課題解決に関する人材の発掘と育成	1,108,480	8,000,000	NPOインターンシップ(学生のNPO活動体験の実施)/神奈川県団体成長支援事業/高校生ボランティアセンター friendsアドバイス事業/続・大人のインターンシップ事業
7. 上記事業を推進するための、創造と連携の拠点づくりと運営	0	0	
8. その他	334,181	1,000,000	
講演料	57,000	50,000	
広告料収入	0	0	
受取利息	1,326	0	普通預金利息
雑収入	134,366	0	
当期収入合計(A)	20,233,751	22,760,000	
前年度繰越金	5,240,265	3,417,243	
収入合計(B)	25,474,016	26,177,243	

支出の部

項目	2013年度決算	2014年度予算	備考
管理人員費	0	0	
旅費交通費	924,420	950,000	
法定福利費	1,365,898	1,500,000	社会保険料、労働保険料
福利厚生費	24,885	25,000	健康診断料等
事務所賃料	1,264,825	1,300,000	光熱費込
会議費	58,911	50,000	
消耗品費	198,899	150,000	プリンタートナー費、文房具代、名刺代等
通信費	192,093	200,000	電話・インターネット料金、切手代等
雑会費	31,000	50,000	
事業人件費	10,689,994	11,080,000	常勤スタッフ3名、非常勤スタッフ2名、専門スタッフ、学生スタッフ
事業支出	6,512,150	6,775,000	
1. 市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト	4,606,066	3,347,800	横浜サウンプロジェクト/みなどみらいサロン/横浜型コミュニティサイクルbaybike/HSEC Water Programme/板橋プロジェクト(仮)/みんなで作る!「市民活動百頁」(仮称)
2. 市民や市民活動団体の地域の課題解決や、そのための組織運営を支援するプロジェクト	1,545,661	1,300,000	市民活動による地域の元気!創出プロジェクト~/ヨコハマ市民まち普請事業
3. 市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート	0	330,000	認定・指定NPO法人による相談窓口事業の受託/益裁カフェ/企業からの相談対応・コーディネート
4. 市民活動や地域の課題解決に関する情報提供と問題提起	8,075	10,000	
5. 市民活動や地域の課題解決に関する政策提案	64,283	0	IPCC横浜会議記念シンポジウム
6. 市民活動や地域の課題解決に関する人材の発掘と育成	176,693	1,590,000	NPOインターンシップ(学生のNPO活動体験の実施)/神奈川県団体成長支援事業/高校生ボランティアセンター friendsアドバイス事業/続・大人のインターンシップ事業
7. 上記事業を推進するための、創造と連携の拠点づくりと運営	0	0	
8. その他	111,372	197,200	
支払手数料	393,348	350,000	振込手数料、税理士報酬等
雑費	0	10,000	
雑損失	0	0	
租税公課	330,350	250,000	消費税、収入印紙等
法人税・法人住民税・法人事業税	70,000	70,000	
当期支出合計(C)	22,056,773	22,760,000	
当期収支差額(A-C)	▲ 1,823,022	0	
当期末収支差額(B-C)	3,417,243	3,417,243	